

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ティービック水和剤
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
SDS作成日	2021年01月08日
SDS改訂日	2023年02月14日(03版)

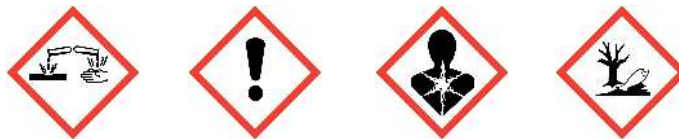
2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分1B
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（神経系，呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（甲状腺，肝臓，呼吸器系，腎臓）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（神経系）
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1

ラベル要素

絵表示（GHS JP）



注意喚起語（GHS JP）

： 危険

危険有害性（GHS JP）

： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
重篤な眼の損傷
遺伝性疾患のおそれ
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害（神経系、呼吸器系）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（甲状腺、肝臓、呼吸器系、腎臓）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（神経系）

水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き (GHS JP)

- 安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後は顔、手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 応急措置 : 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。
- 保管 : 施錠して保管すること。
- 廃棄 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
一般名 : チウラムとペンシクロンを有効成分とする農業用殺菌剤

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ビス（ジメチルチオカルバモイル）ジスルフィド	40.0	末尾に記載	(2)-1820	2-(5)-87	137-26-8
1-(4-クロロベンジル)-1-シクロペンチル-3-フェニル尿素	20.0	末尾に記載	適用外(農薬)	4-(13)-149	66063-05-6
結晶質シリカ	29.0	SiO ₂	(1)-548	なし(公表化学物質扱い)	14808-60-7

鉍物質微粉等

含有量 11.0%

《ビス（ジメチルチオカルバモイル）ジスルフィド の別名》

チウラム、TMTD

《1-(4-クロロベンジル)-1-シクロペンチル-3-フェニル尿素 の別名》

ペンシクロン

《結晶質シリカ の別名》

石英

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴を直ちに脱ぐこと。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗う。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療：対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：霧状の水
粉末消火剤
泡消火剤
炭酸ガス消火剤
乾燥砂
- 使ってはならない消火剤：情報なし。
- 火災危険性：燃焼によって有毒ガスを生成する。
- 消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火作業は風上から行う。
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護：燃焼により毒性・有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用のこと、
風上に立ち蒸気を避ける。
-

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置

- ： 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
- 人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」及び「火気厳禁」の措置を行う。
- 十分な換気を確保する。
- 風上から近づく。
- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 粉塵を吸入しないこと。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

- ： 排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法

- ： 漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。

二次災害の防止策

- ： 火花を発生させない工具を使用すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

- ： 取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 粉塵を吸入しないこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 使用前にラベルをよく読むこと。
- ラベルの記載以外には使用しないこと。
- 秤量等の取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに飛沫を発生させないこと。

接触回避

- ： 「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。

保管

安全な保管条件

- ： 子供の手の届かないところに置くこと。
- 直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

安全な容器包装材料

- ： データなし

8. ばく露防止及び保護措置

《ビス（ジメチルチオカルバモイル）ジスルフィド のデータ》

厚生労働省

管理濃度

- ： 設定されていない

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会)	: 0.1mg/m ³
年度	: 2021
ACGIH	
許容濃度(ACGIH)	: TWA 0.05 mg/m ³ (IFV), STEL -
年度	: 2021
《結晶質シリカ のデータ》	
厚生労働省	
管理濃度	: E = 3.0 / (1.19Q + 1), E: 管理濃度 (mg/m ³), Q: 当該粉 じんの遊離けい酸含有率 (%)
日本産業衛生学会	
許容濃度(産衛学会)	: 0.03 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ)
年度	: 2021
ACGIH	
許容濃度(ACGIH)	: 0.025 mg/m ³ (Respiratory fraction)
年度	: 2021
設備対策	: 屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排 気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。
呼吸用保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋
目の保護具	: ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 材質を特定しないが、長袖・長ズボン : 作業着、帽子等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
形状	: 粉末
色	: 類白色水和性
臭い	: データなし
pH	: 8.5 - 10.5 (1%溶液)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: 403 °C
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 0.2 - 0.3
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: チウラムのデータ: 1.84、ペンシクロンのデータ: 4.68 (20°C)
爆発限界 (vol %)	: データなし

爆発限界 (g/m ³)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 直射日光。高温。熱。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 燃焼によって有毒ガスを生成する。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (粉じん、ミスト)

ティービック水和剤	
LD50 経口 ラット	3820 mg/kg
LD50 経皮 ラット	5000 mg/kg

皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 区分に該当しない わずかな刺激性があるが、区分に満たない (ウサギ)。
-------------	--

ティービック水和剤	
pH	8.5 - 10.5 (1%溶液)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 重篤な眼の損傷 区分 1。チウラムにより、重篤な眼の損傷。
------------------	------------------------------------

ティービック水和剤	
pH	8.5 - 10.5 (1%溶液)

呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 区分 1。皮膚感作を起こす (モルモット)
生殖細胞変異原性	: 遺伝性疾患のおそれ 区分 1B のチウラムを 0.1%以上含有のため、区分 1B。
発がん性	: 発がんのおそれ 区分 1A の結晶質シリカを 0.1%以上含有するため、区分 1A。
生殖毒性	: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 区分 2 のチウラムを 3.0%以上含有するため、区分 2。

- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害(神経系, 呼吸器系)
 区分1(神経系)のチウラム、区分1(呼吸器系)の結晶質シリカを10%以上含有するため、区分1(神経系、呼吸器系)。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(甲状腺、肝臓、呼吸器系、腎臓)
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(神経系)
 区分1(甲状腺、肝臓)のチウラム、区分1(呼吸器系、腎臓)の結晶質シリカを10%以上、区分2(神経系)のチウラムを10%以上含有するため、区分1(甲状腺、肝臓、呼吸器系、腎臓)、区分2(神経系)。
- 誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

- 水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に非常に強い毒性
 以下の知見から区分1とした。
- 水生環境有害性 長期(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
 以下の知見から区分1とした。
- その他の情報 : チウラム、ペンシクロン：易分解性ではない。
 チウラム、ペンシクロン：土壌中では不動性。

ティービック水和剤	
LC50 - 魚 [1]	0.62 mg/l (コイ、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	0.0641 mg/l (オビシロコ、48hr)
ErC50 藻類	0.0728 mg/l (緑藻類、72hr)
BCF - 魚 [1]	チウラムのデータ：3.9、ペンシクロンのデータ：226
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	チウラムのデータ：1.84、ペンシクロンのデータ：4.68 (20℃)

残留性・分解性

ティービック水和剤	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

ティービック水和剤	
生体蓄積性	データなし
BCF - 魚 [1]	チウラムのデータ：3.9、ペンシクロンのデータ：226
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	チウラムのデータ：1.84、ペンシクロンのデータ：4.68 (20℃)

土壤中の移動性

ティービック水和剤	
土壤中の移動性	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	チウラムのデータ：1.84、ペンシクロンのデータ：4.68 (20℃)

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性：分類できない
 その他の有害な影響：追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物：内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
 処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- 汚染容器及び包装：容器の洗浄水等は河川に流さない。

14. 輸送上の注意

国際規制

- 海上規制情報：IMOの規定に従う。
 航空規制情報：ICAO/IATAの規定に従う。
 国連番号：3077
 正式輸送品名：環境有害物質（固体）
 国連分類：9
 容器等級：III
 海洋汚染物質：



適用される

国内規制

- 海上規制情報：船舶安全法の規定に従う。
 航空規制情報：航空法の規定に従う。

特別な輸送上の注意

- ：荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
 輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

その他の情報

- ：補足情報なし。

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	： 変異原性が認められた既存化学物質（法第57条の5、労働基準局長通達） テトラメチルチウラムジスルフィド 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） テトラメチルチウラムジスルフィド 結晶質シリカ 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） テトラメチルチウラムジスルフィド（政令番号：372） 結晶質シリカ（政令番号：165の2）
	： 変異原性が認められた既存化学物質：テトラメチルチウラムジスルフィド
毒物及び劇物取締法	： 非該当
消防法	： 非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	： 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） テトラメチルチウラムジスルフィド（別名チウラム又はチラム） （管理番号：268）（40%） 【改正後 令和5年4月1日以降】 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） テトラメチルチウラムジスルフィド（別名チウラム又はチラム） （管理番号：268）（40%）
農薬取締法	： 該当

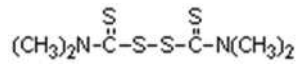
16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

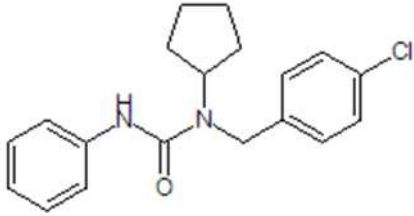
公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）			
中毒110番	一般市民専用電話	（大阪）	072-727-2499（情報料無料） 365日24時間対応
		（つくば）	029-852-9999（情報料無料） 365日9～21時対応
	医療機関専用有料電話	（大阪）	072-726-9923（1件2000円） 365日24時間対応
		（つくば）	029-851-9999（1件2000円） 365日9～21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。



CAS 番号 : 137-26-8

化学名 : ビス(ジメチルチオカルバモイル)ジスルフィド



CAS 番号 : 66063-05-6

化学名 : 1-(4-クロロベンジル)-1-シクロペンチル-3-フェニル尿素